



健康遊具



いつまでも健康で いられるまちづくり

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



健康遊具の更なる設置を 検討したい

- 問** 健康づくりの担い手の育成は。
- 答** 介護予防ボランティアやフレイルサポーターなどを継続して養成し、地域で活動していただいている。今後も新たな担い手の養成に加えて、技術の向上モチベーションの維持につながるよう、各担い手のフォローアップにも努めていく。
- 問** 既存の公園の整備は。
- 答** 体力づくりを行う健康遊具の設置、ラジオ体操やグラウンドゴルフなどが行える多目的広場などの整備を進めてきた。
- 問** 健康遊具を設置してある公園が少ない。羽折公園などの利用率が高い公園について、要望が多いようであれば設置を進めていくべきでは。

- 答** 要望や利用状況などを踏まえて、検討していきたい。
- 問** 若者向けの健康づくりについて、SNSなどを用いてスマートフォンで情報が得やすいように発信していくべきでは。
- 答** これからもより効果的に啓発が行えるよう、様々な方法を検討していきたい。
- ◎その他の質問
- 一 市庁舎大規模漏水の被害状況について
 - 二 子どもたちを有害な紫外線から守るために



一本松駅



西部地域の発展と 今後について

つるしばた
漆畑 和司 議員



より最善の策を講じていきたい

- 問** 西中学校北側信号付近の道路拡幅による状況について。
- 答** 市道9-2号線については、一般県道川越越生線に交差するまでの約110㍎の区間で、令和元年度に北側部分の用地確保を行い、2年度に歩道工事を実施し、南側の既設歩道と合わせ両側に歩行空間が確保された。
- 問** 一本松地区の区画整理見直

- しで住宅が多く建ち開発が進んだが、この状況について。
- 答** 平成22年3月に土地区画整理事業の見直しを行い、土地区画整理事業を継続する区域と地区計画により整備を行う区域とに整備手法を分け、良好な居住環境の形成を図ってきた。
- 問** 新川越越生線（県道）が動き出したが、その状況について。
- 答** 埼玉県では、今年度、国道407号バイパスから新田地区までの区間において、物件調査及び用地買収を実施する予定である。整備主体の県と連携しながら、取組を進めていく。